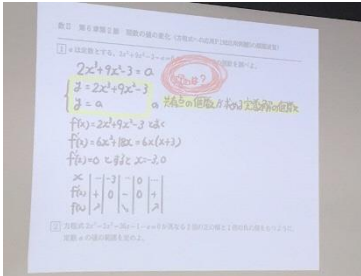
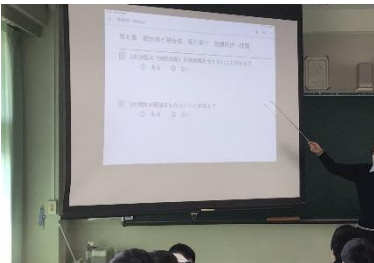
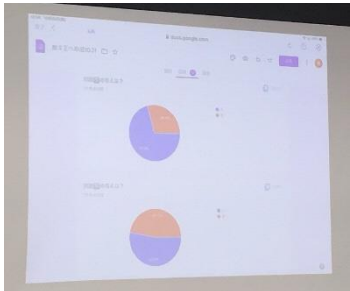


令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立笠岡高等学校		
実践者等		山本 晃	実践日	令和4年10月19日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		数学科・数学Ⅱ (微分法と積分法)		
対象生徒 (学年等)		普通科2年		
育成を目指す資質・能力		☒ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☒ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☐ 対話を充実させる活用 ☒ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☒ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他 ()		
	家庭学習	☐ 振り返り ☐ 探究 ☒ 反転学習 ☒ 補習・定着		
実践の内容				
【授業】 (1) 黒板を使用して、応用例題5 (3次方程式が異なる3個の実数解をもつように、定数aの値の範囲を求める問題) を解説する。 (2) Classroomで類題(2問)を配信し、生徒はGoodNotesアプリでiPad上で問1を解く。 (3) 教員のiPad画面をスクリーンに映写して、「問1」を解説する。 (4) 本時のまとめと振り返りを行う。その中で、発展的思考を促す択一問題(2問)を出題する。スクリーンに映写し、生徒はその答えをFormsで送信する。 (5) Formsの機能で解答状況を確認し、正解を解説する。				
 (3) の様子  (4) の様子  (5) の様子				
【本時と家庭学習との連動】 授業中にClassroomで配信した問題の「問2」に取り組み、復習する。次時に解説を行うが、事前に答えを確認したい場合や、ヒントが欲しい場合は次の授業までの間に提出できる(個別の対応が可能)。				